

取得し被害を最小限にするため助成が喫緊の課題である。

**岩崎憲郎町長**  
大豊町猟友会を中心に



防護ネット張り（怒田地内）

ボランティア精神のもとにシカ、イノシシ、鳥など約2千近く捕獲されている。今後個体調整をどのように行っていくかで検討する。

## 町外通勤職員によるふるさと納税の状況は

**問** 納税件数は11件である

**三谷幸一郎議員**  
平成23年3月定例会で町外通勤職員によるふるさと納税件数は6件であるとの答弁であった。その後一年経過したが、今

後一件でも納税者が増加することを期待する。

**岩崎憲郎町長**  
平成23年度は11件である。

## 大型製材工場誘致関連対策

**問** 生活に直結する町道等の維持管理の基本的な考えは

**答** 町道等は生活の直結する社会資本であり維持管理は従来どおり積極的に実施する



上池如夫 議員

出により、路面の損傷などによって住民に影響はないか。

**岩崎憲郎町長**

住民にとって日常生活に直結する社会資本であり、維持管理等は積極的に行っていく。



林道奥大田三谷線（立川三谷地内）

**問** 大型製材工場社員住宅の確保は町営住宅の基本的な考え方は町の将来と地域の在り方を考慮し検討する。

**上池如夫議員**

平成23年12月定例会で、大型製材工場の社員の住宅確保の質問に対し、既存の町営住宅での対応とすることがあったが、町営住宅の空き家がない現在、廃校となった施設を活用し、若者の住宅確保の考えはないか。

**岩崎憲郎町長**

大型製材工場の社員の住宅確保のみを考慮し結

## 高知おおとよ製材

**問** 木質バイオマス発電の計画はあるか  
**答** 現在検討中



重森一宗 議員

町長は、木質バイオマス発電は再生エネルギーの単価が決まれば可能性

を探っていくと言われた。また、銘建工業の中島社長も木材はすべて利用するという基本的な考えであると聞けが、木質バイオマス発電の計画は。

**岩崎憲郎町長**

銘建工業では、既に出

力2千キロワットの木質バイオマス発電を建設し稼働している。現在、中島社長

と協議中であり、早急に結論をだす。

**問** 再造林補助率100%は町外地主も補助対象とするのか

**重森一宗議員**

再造林補助率の内訳は、国68%、県22%、大豊町10%と日本一の補助率であり評価する。本町の山主の42%は、町外地主であるが町民と同様に補助するの

**岩崎憲郎町長**

本町の森林所有者のほとんどが、森林組合の組合員であり、今後は森林組合を核として団地化を図っていく。この団地化を推進していくには町内地主、町外地主関係なく補助金を交付する



植林（和田地内）

## ガソリンスタンドの地下貯蔵タンク改修

**問** 町内ガソリンスタンドに対する改修費の支援は

**答** 支援するという結論に至っていない

**重森一宗議員**

地下貯蔵タンクの改修が1年後に迫り存廃のふちに立つ店舗も少なくないとして、国は87億円を予算化し3分2補助するとしているが、申請者が多いため10億円の不足と報道されている。地下貯蔵タンクを補強する費用は約400万円前後と言われている。

**岩崎憲郎町長**

現在、町内には5事業者あって、1事業者が補助金交付申請をしていると聞いている。支援をするという結論に至っていない。

## 集落活動センターの取組

**問** 集落活動センターの目指すものは

**答** 本町が抱える様々な課題の解決を図る

**重森一宗議員**

移動手段の確保、食糧の調達、交流事業、加工品



西峰地区

の開発など集落の支え合いや経済活動などを構築するとしている。国や地方の莫大な借金がある、持続可能な社会にするためには過疎地域の方々に一定のエリアに住んでもらわなければ、一定の医療や介護などのサービスを供給できないとしている。町長は、過疎地域に住んでいることで地域を守り、環境を守り、国土を守ると言われている。この集落活動センターを町内に設置するとすれば、国が指摘する持続可能な社会を含むものか、町長

**岩崎憲郎町長**

集落の維持や再生に向け、廃校や集会所などを拠点として、外部人材などを活用しながら、生活、福祉、産業、防災等の取り組みを集落の連携により一体的に進める「集落活動センター」の建設など、本町が抱える様々な課題の解決を図る。